

【指標名】 (全自病_一般_19)脳卒中連携パス使用率

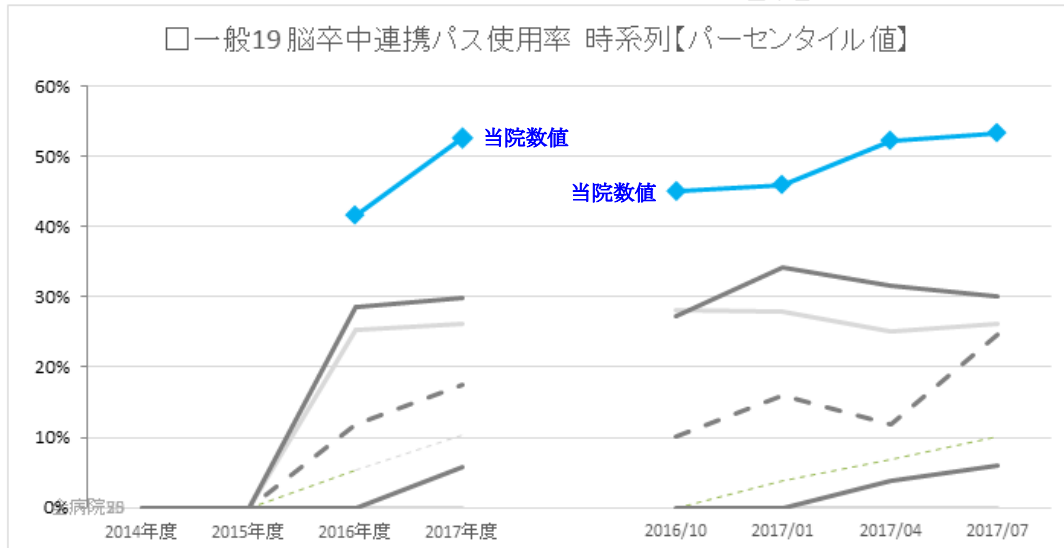
【指標の説明】 急性脳梗塞や脳出血など脳卒中では、急性期治療後にリハビリテーションをさらに行うため、専門病院等に転院することがあります。急性期担当病院と受け入れ病院があらかじめ計画を共有した上で個々の患者さんの診療計画を作成することを地域連携パスといいます。脳卒中患者さんに対し、地域連携パスが適用された割合を表しています。

【計算方法】 分子 分母のうち、脳卒中パスで地域連携診療計画加算を算定した患者数

分母 急性脳梗塞患者の生存退院患者数（詳細条件あり）

全国自治体病院協議会 医療の質の評価・公表等推進事業 フィードバック

データ基準日 平成29年10月25日



貴院	数値	年度別				四半期別			
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2016/10	2017/01	2017/04	2017/07
全病院		<なし>	<なし>	41.6%	52.6%	45.1%	45.9%	52.2%	53.3%
	25パーセンタイル			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50パーセンタイル			5.3%	10.3%	0.0%	3.8%	6.8%	10.2%
	75パーセンタイル			25.2%	26.2%	28.1%	27.9%	25.0%	26.1%
500以上				0.0%	5.8%	0.0%	0.0%	3.8%	6.1%
	25パーセンタイル			11.8%	17.5%	10.2%	16.0%	11.9%	24.6%
	50パーセンタイル			28.7%	29.9%	27.2%	34.2%	31.6%	30.0%
全病院	平均値			12.8%	14.4%	13.8%	14.8%	14.3%	15.0%
500以上	平均値			15.1%	21.1%	13.7%	17.7%	20.3%	21.9%
全病院	登録数			139	142	127	130	134	131
500以上	登録数			25	23	24	24	23	23

